

マエストロ小林研一郎80th祝祭演奏会 VOL.2

小林研一郎80歳(傘寿)記念 & チャイコフスキー生誕180周年記念

チャイコフスキー交響曲 特別プログラム

交響曲第4番

交響曲第6番『悲愴』

KOBAKEN
MUSIC FESTIVAL
2020



炎のチャイコフスキー！
80歳！巨匠コバケンの真髄！
コロナに打ち勝て！



小林研一郎 [指揮]

名古屋フィルハーモニー交響楽団 [管弦楽]

2021年2月24日(水) 18:45開演 (17:45開場)
密を避けるために60分前開場とします。

愛知県芸術劇場コンサートホール

料金 | S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 (全席指定・税込)

2020年10月25日(日) 午前10時

既にお買い求めの2020年のチケットをお持ちの方は、
そのチケットで入場が出来ます。

チケット払い戻しに関するお問合せ クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド

アイ・チケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket> (ネットで席が選べます。)

東海テレビチケットセンター 052-951-9104 (平日10:00~18:00) <https://tokai-tv.com>

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:186-653) ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード:42619)

名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755 芸文プレイガイド 052-972-0430

- ◆主催：東海テレビ放送
マエストロ小林研一郎80th祝祭演奏会実行委員会
- ◆特別協賛：ROOM株式会社 / 株式会社 オービック
- ◆協賛：株式会社千代田テクノル
株式会社重松製作所
富士テレコム株式会社
相互整美株式会社
- ◆協力：ジャパン・アーツ / クラシック名古屋
- ◆お問合せ：クラシック名古屋 052-678-5310

新型コロナ・ウイルス感染対策とお願い

当実行委員会では、新型コロナ・ウイルス感染症について、政府の基本方針等の発表を注視しながら、最大限の感染予防の為の対策を実施した上で、小林研一郎傘寿記念&チャイコフスキー180周年記念公演を開催いたします。

お客様に置かれましては、ご自身の感染予防に留意して頂き、右記のご協力を賜りますようお願い致します。

お客様へ
のお願い

- ・37.5度以上の発熱がある方、または発熱が続いている方のご来場はご遠慮ください。
- ・こまめな手洗い・手指消毒のご協力をお願い致します。
- ・ホール内はマスク着用をお願い致します。
- ・ホール内ではソーシャル・ディスタンスをお取りください。
- ・ホール内でのおしゃべりはお控えください。
- ・ブラボー！などの大声での声援はお控えください。
- ・ホールでの感染症対策は万全ですので安心してご鑑賞ください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により出演者、曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。※車椅子でご来場されるお客様は、ご購入前に必ずクラシック名古屋(052-678-5310)までお問合せください。

チャイコフスキー交響曲 特別プログラム

交響曲第4番 & 交響曲第6番『悲愴』

コバケンと言う名の熱狂！

今年4月に傘寿(80th)を迎えた“炎の指揮者”と呼ばれる小林研一郎氏は、その躍動的な指揮振りと抒情的な感性を刺激する音楽性と相まって、日本とヨーロッパの数多くの観客に支持されてきた。

得意とするチャイコフスキー二曲で長年苦楽を共にしてきた名フィルと「炎のチャイコフスキー」を披露いたします。

80歳(傘寿)のマエストロを応援し、コバケンのチャイコフスキーを全身に浴びようではありませんか！



小林研一郎 (指揮) Ken-ichiro Kobayashi (Conductor)

東京藝術大学音楽学部作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞受賞。これまでに世界有数の音楽祭に出演するほか、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団などの日本公演の舵をとり、日本フィルハーモニー交響楽団の海外公演を成功へと導いた。文化を通じた長年にわたる国際交流や社会貢献により、2011年に文化庁長官表彰、2013年には旭日中綬章を授与、また、ハンガリー政府よりリスト記念勲章、ハンガリー文化勲章、星付中十字勲章、ハンガリー文化大使の称号を授与された。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年には日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルで初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に再演されている。

2005年からは社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」で活動趣旨に賛同するプロ、アマチュア、学生などのボランティアメンバーと共に全国でチャリティ公演も行っている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、国内外オーケストラへの客演も多く、名実ともに日本を代表する指揮者である。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』（騎虎書房）などがある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、群馬交響楽団ミュージック・アドバイザー、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京藝術大学、及びリスト音楽院名誉教授、東京文化会館音楽監督、長野県芸術監督団音楽監督などを務める。

オフィシャルHP <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



名古屋フィルハーモニー交響楽団

(管弦楽)

Nagoya Philharmonic Orchestra

愛知県名古屋市を中心に、東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名(めい)フィル”の愛称で地元住民からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。

2016年4月に小泉和裕が音楽監督に就任。日本を代表する巨匠指揮者の就任に、全国から高い注目と期待が集まっている。2020年は就任5シーズン目を迎え、ますます関係を深め、さらに音楽的な水準を高めることを目指している。他に現在の指揮者陣には、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)、川瀬賢太郎(正指揮者)が名を連ねている。また2017年4月には、第2代コンポーザー・イン・レジデンスに酒井健治が就任。2020年4月からは、第3代コンポーザー・イン・レジデンスに坂田直樹氏が就任。

1988年に初の海外公演としてヨーロッパ2か国ツアー(フランス、スイス 広上淳一指揮)を、2000年にアジア8か国ツアー(ブルネイ、シンガポール、フィリピン、韓国、マレーシア、ベトナム、タイ、台湾 本名徹次指揮)、2004年に「ブラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3か国ツアー(ドイツ、オーストリア、チェコ 沼尻竜典、武藤英明、トマーシュ・ハヌス指揮)、2006年にアジア7か国ツアー(シンガポール、フィリピン、台湾、韓国、タイ、香港、マレーシア 下野竜也指揮)を実施、大成功を収める。

楽団結成は1966年7月。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。シーズンごとにテーマを設け、意欲的な内容に定評のある「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」や障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約120回の演奏会を実施。創立から50年を越え、さらなる飛躍を期している。